【会議の概要】

１　開会

・金子都市整備課長の進行で 13：30 開会

２　会長挨拶

・酒井会長による挨拶

３　地域公共交通会議について

・今回初めて委員になられた方が多いことから、資料 No. １、２により事務局から改めて趣旨や運営等について説明

４　報告

(1)会長職務代理の指名について

・設置要綱第５条第３項に基づき、資料 No. ３のとおり会長が高野斉委員を指名

(2)路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー等の運行状況について

・資料 No. ４により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●人口減少の中、利用増は見込めないが、最後の交通手段となるのでよろしく頼む。

●乗合タクシーの下早川地区と上早川地区の利用者数の差が大きい原因は何か。

→路線により利用の多いものと全くないものがある。利用が多い路線は予約不要で全便運行、利用が少ない路線は予約による運行としていることも原因かもしれない。

→予約制の路線があることの認知が低いのか、そもそも必要としていないのか。利用方法をよく知らないことにより利用したい人が埋もれていないか。そういったことにより利用が少なくて、減便・休止という負のスパイラルを招くことのないようにしなければならない。

→周知に努めたい。

●運賃１回 100 円程度の収入ならば、無料にしてはどうか。運賃 100 円が利用増の障害となっていないか。

→無料とした際に事業として成立しないのではないか。利用しやすいワンコインとしているが、少し調べさせていただきたい。

(3)平成24年度コミュニティバス市振・上路線の運行継続について

・資料No.５により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●当該地区は住民の平均年齢が70歳代に到達していると思われ、自家用車の乗り合い等の共助も限界がきつつある。今は利用が少ないが、住民も今後に危機感をもっており、最低限の利用者負担を残した中で、最後の足として残したい。

(4)小滝地区乗合タクシー運行事業者の変更について

・資料No.６により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●小滝地区乗合タクシーを利用しており、地区の高齢者が大変喜んでいるので、これからもずっと継続していただきたい。

(5)使用車両の変更について

・資料No.７により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●中型低床車両であるため、降雪が多い時にやや心配とのことであるが、その場合はどう対応するのか。

→予備車両等で対応する。

●中型低床車両は現状１台だが、もう２台導入してみて市民の反応をみたい。

(6)その他

なし

５　協議

(1)路線バスの平成24年10月1日付けダイヤ改正（案）について

・資料No.８により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●根知線の経路変更は、人家の減少等によるものか。

→地元の根知地区の要望によるものである。この東廻り線２系統の経路の他に西廻り線もあるので、極端にバスが通らなくなることはない。

＜協議結果＞

●異議なしにより、本会議で協議が調った。

(2)平成25年度コミュニティバス市振・上路線の運行継続について

・資料No.９により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

●本年度は道路運送法第21条による１年限りの許可ということだが、来年度以降はどうか。

→同法第４条許可申請予定なので許可がおりれば、継続して運行できる。

＜協議結果＞

●異議なしにより、本会議で協議が調った。

(3)協議事項及び報告事項について

・資料No.10により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

なし

＜協議結果＞

●異議なしにより、本会議で協議が調った。次回からこれに沿って会議を進める。

(4)その他

なし

６　その他

＜各委員からの質疑・意見＞

●中学校は、夏季休業や土日等、半数以上の生徒が部活動等でほぼ毎日通学している。路線バスのダイヤは平日と土日等で異なり、それにあわせて活動時間を設定するようにしているが、路線は多方面にわたり、日程調整に苦慮している。活動時間に差異が生じるので、保護者からもバス時刻を調整してもらうよう要請してほしいと要望がきている。ご配慮いただきたい。

→ダイヤは、鉄道との乗り継ぎや各路線の組み合わせによりできており、一方を都合よくすると、他方で都合が悪くなる場合がある。全てを解決できないかもしれないが、利用していただける公共交通になるよう検討したい。

●いくマイカー（中型低床車両）が好評だが、糸魚川市街地以外に運行する計画はないか。

→今年度２台導入するので、なるべく他地域でも運行したい。

●通年ではないが、毎年一定の時期にバスが必要と思われるものがあるがどうか。例えば、夏祭り時期のお祭りバスや、秋の熊出没時期の臨時下校バスなど。

→ご提案のものは路線バスではなく、貸切バスとしての対応となる。

→同様に風邪等の流行により生徒を早く帰宅させる場合も検討してほしい。

●高齢者の交通事故や運転免許の自主返納も増えている。必然的に公共交通機関を利用する高齢者が増える傾向にあることを事業者からご承知おきいただきたい。

→交通事故でいう高齢者とは何歳からか。

→65 歳以上をいう。

→運転免許の自主返納は何歳からできるのか。

→年齢に関係なくできる。

●糸魚川市のみならず、どこも同じ悩みを抱えている。特に糸魚川市は県内トップクラスの面積をもつので、市の中でも地域によって実情は異なり、画一的なやり方ではうまくいかない。そこで、バス事業者やハイヤー事業者等でその地域に合った形で運行している。地域により利用の多少があるが、需要の掘り起こしが必要になる。無料運行の意見もあったが、無料券を配付して利用したことのない方に認知してもらう試み等も需要の掘り起こしに繋がるのではないか。運行自体は、道路運送法により乗合事業、貸切事業、乗用事業があり、それぞれのルールの中で地域の実情に応じた取り組みを検討いただきたい。

※金子都市整備課長の挨拶で 14：58 閉会